

令和元年度（2019年度）第2回北海道総合保健医療協議会地域保健専門委員会
糖尿病対策小委員会 【議事録】

日時 令和元年度（2019年度）10月10日（木） 19時10分～19時40分

場所 かでる2・7 920会議室

出席者 別添「出席者名簿」のとおり

- 議題
- 1 北海道医療計画（H30～H35）の進捗評価について
 - 2 生活習慣病対策の推進に係る連携協定について
 - 3 公表医療機関の状況について
 - 4 糖尿病連携手帳の提示促進資材活用状況について

議事

(1) 北海道医療計画（H30～H35）の進捗評価について（報告1）

ア 事務局（齊藤。以下「事務局」という。）から資料1に基づき説明。

イ 質疑応答（・無）

森川委員）特定健診受診率について、現状値とH30値の違いは何か教えて欲しい。

事務局）現状値は、H27年度値で、「H30」は評価年度となっており、値としては、H28年度の受診率である40.4%と記載。

森川委員）特定健診受診率は、目標値から大きく離れているわけだが、その課題解決のために「道・市町村・医療保険者等が連携して…」等の取組記載がある。取組の具体的計画を教えて欲しい。

事務局）当課では、毎年、関係機関と主催でアリオを会場として特定健診普及啓発イベントを実施している。しかし、普及啓発のみでは限界があり、今後国保医療課における取組等、他課・グループとも連携して取組を進めていきたいと考えている。

森川委員）昨日、旭川市国保と周辺9町担当者と慢性腎臓病に関する会合があった。その際、特定健診未受診の理由として、「すでに通院しているから」といった人が多いことが明らかになっており、データ受領をどう進めていくかという話題が上がったところ。旭川市国保担当者からは、「北海道の方で、データ受領の共通ルールを作ってもらい、それに則り旭川市の仕組みづくりを進めたい」との話があった。北海道では、データ受領の仕組みづくりについてどう考えているのか伺いたい。

事務局）データ受領の仕組みづくりについては、他の市町村からも同様に要望する声が聞かれているところ。どういった仕組みづくりにしていくかについては、国保医療課にて検討している状況と聞いており、当課も協力していければと考えている。

森川委員）了解。できればスピーディに取組を進めていっていただきたい。

奥村委員長）目標値の設定根拠を教えて欲しい。

事務局）医療計画を立てた際、現状値より減少させることを目標に設定した値になる。本日、根拠が分かる資料を持ち合わせていないため、後日報告させていただきたい。

(2) 生活習慣病対策の推進に係る連携協定について（報告2）

ア 事務局から資料2に基づき説明。

イ 質疑応答（有・無）

(3) 公表医療機関の状況について（報告3）

ア 事務局から資料 3-1、3-2 に基づき説明。

イ 質疑応答 (有)・無)

奥村委員長) 資料 3-1 の十勝圏域について。(公表基準要件の) ①と③の年別推移をみると減少している。何か理由が分かっているのか。

事務局) 今年度、調査表様式を変更したこと(協議事項参照)による影響を推測。

奥村委員長) H30 から今年度の減少だけでなく、H29 から H30 の減りも気になる。何か理由が分かったら教えていただきたい。

(4) 糖尿病連携手帳の提示促進資材活用状況について(報告 4)

ア 事務局から資料 4 に基づき説明。

イ 質疑応答 (有)・無)

沖津委員) 歯科医療機関へ配布した保健所での、配布先の選定方法について教えて欲しい。

事務局) 選定方法は未把握のため、該当保健所へ確認後、報告させていただきたい。

(5) 糖尿病医療を担う公表医療機関調査(調査票書式の変更)及び「参考」項目 3 点の公表について(協議)

ア 事務局から資料 5-1、5-2、資料 3-2 の添付資料(公表一覧)に基づき説明。

(特記事項)

- 資料 5-1 の調査を実施したところ、公表該当要件③の数が昨年度より減少。医療機関へ電話掛けし再確認をしたところ、「参考」項目に該当しないと③を選択できないと考えた医療機関が多かった。そのため、書式を資料 5-2 にある朱書きのとおり変更することについて説明。

- また、「参考」項目の該当医療機関を表にまとめたところ、医療機関差があるように見えてしまうことを懸念しており、公表方法について意見欲しいことを説明。

イ 質疑応答 (有)・無)

奥村委員長) 「参考」項目について、何の「参考」にするのか。

事務局) 昨年度本小委員会にて、北海道内の糖尿病専門医が偏在している現状から、それを補う役割を期待されている専門職である、糖尿病療養指導士等の配置状況を把握するために追加した調査項目となる。

奥村委員長) 事務局側の意図は理解できるが、それを調査対象医療機関側が理解する必要があると思う。

事務局) 確かにそれも一理あるため、調査要領含め見直しをしていきたい。

沖津委員) 本日医師会の先生方がいらっしゃらないが、昨年度藤原副委員長が、「参考」項目の有り無しが分かるような公表方法だと、よい医療機関、悪い医療機関という風に見られてしまう可能性もあるため、公表方法の工夫をする方がよい等の話があった。医師会から意見等をもらい公表方法を検討してみてもどうか。

事務局) 今いただいた意見を基に医師会へ相談した結果も含め、各委員へ報告していきたい。

(6) その他

今後の本小委員会開催については、今後、各委員へ連絡していくこととした。